

平成 30 年度第 2 回会議議事要旨
(平成 31 年 2 月 18 日開催)

令和元年 6 月

南 城 市

1. 報告事項(おでかけなんじいの運行・利用状況の報告)について

番号	委員	事務局
1-1	年齢別の利用割合は、予約した回数ベースか、実利用者の人数ベースでの割合か。	回数ベースでの割合である。実際に乗った回数が多ければ、その年代の構成比は大きくなる。
1-2	高齢者の利用の割合が減っているが、実際の回数が減っているのか、それとも若年層の回数が増えていて、相対的に減っているか。	全体の利用が、ほぼ横ばいであることから、高齢者の利用が減ってきていると考えられる。

2. 南城市地域公共交通再編実施計画(素案)概要版について

番号	委員	事務局
2-1	コースD-②、玉城幼稚園帰り線は、幼稚園児のみで乗るのか。保育士と一緒に乗らないのか。	幼稚園と調整しており、はじめの頃は保育士も同乗できないか検討している。
2-2	—	前回会議で障がい者や免許返納者への割引運賃は設定しないのかという議論があったが、シンプルな運賃体系がよいと判断し、乗り継ぎ割引等も含めた運賃体系とした。

3. おでかけなんじいの運行計画(案)について

番号	委員	事務局
3-1	5人乗りの車両は、どんな車両を考えているのか。	トヨタのジャパントクシーを想定しているが、車両は委託会社が準備することになる。
3-2	利用者は一人での利用が多いのか。2～3人のグループでの利用はどのくらいあるのか。5人以上での予約はないのか。	市民は、ほとんどが1人での利用となっている。観光客は、2～3人や家族連れがある。5人以上の利用はほとんどない。
3-3	予約を断る理由で、満員が多いとあるが、車両の定員はもう少し増やせないのか。	満員というのは、車両定員の10人に達したという意味ではなく、1時間で回れる範囲での定員に達したという意味である。
3-4	土曜日16時台の減便は、車内で周知や案内はしているのか。	行っていない。今回承認をいただいて、3月までに改善されなければ、4月に利用者へ周知する予定。
3-5	利用者に、利用が少ないと減便になることを案内してはどうか。	減便については、6月の会議で決めることにし、その間に周知する。